

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧 twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】サウジ企業による農業投資の失敗

サウジ・スター・アグリカルチャル・デベロップメント社は、15年以上前にエチオピアのガンベラ州及びベニシャングル・グムズ州にまたがる14,020ヘクタールという広大な土地を取得した。サウジアラビアの海外農業投資イニシアチブの目玉プロジェクトとして推進されているこの事業は、当初25億～30億米ドルの対外直接投資を行うと約束していた。しかし、想定外の事態に対応することが出来ず、土地は放置されて荒れているのが現状だ。

<https://allafrica.com/stories/202608310799.html>

(2)【ケニア】イタリアとケニア、AI インフラに資金拠出

イタリア政府は、ケニア政府とのパートナーシップの下、アフリカ14カ国における AI インフラに100億ケニアシリング(約7.7千万米ドル)を拠出することを約束。同イニシアチブはアフリカ大陸全体での AI 能力開発を支援するものであり、AI 及びデジタル技術におけるアフリカの能力強化に向けた広範な取り組みの一環である。

<https://allafrica.com/stories/202609170210.html>

■西部アフリカ

(3)【ガーナ】EV 産業発展のための若者育成

ガーナは、特に電気自動車(EV)分野において、新興の自動車産業発展に向けて、若年労働力を対象とした大規模な技能開発プログラムを開始した。5カ年にわたるこの取り組みの下、教育省は、ガーナの若者に電気自動車技術、ハイブリッドシステム、デジタル診断、その他の先進的な自動車技術に関する専門的スキルを身につけさせ、彼らの雇用適性を高め、地元の自動車産業の成長を支援する。

<https://allafrica.com/stories/202609070256.html>

(4)【セネガル】トルコの協力による西アフリカ市場向けの製油所計画

セネガルは、新たに生産された原油の国内での処理量を増やし、西アフリカ全域に燃料を販売することを目指し、計画中の第2製油所および既存プラントの改修について、トルコ企業に協力を依頼した。計画中のプラントは、セネガルのサンゴマル油田からの原油を含め、年間400万トンの原油を処理する予定である。これとは別に、同国の既存製油所の改修も予定されており、これらを合わせた総費用は最大35億米ドルに達すると見込まれている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/senegal-turns-to-turkey-for-up-to-dollar35-billion-refinery-push-as-it-targets-west/q6tk9vt>

(5)【コートジボワール】初の国営データセンター開設を目指す

コートジボワールは、同国初の国営データセンターの建設を目指している。このデータセンターは2027年に開設される予定で、米国輸出入銀行から資金援助を受けている。データセンターの開発はワシントンに拠点を置く Cybastion Institute of Technology LLC が担当しており、総工費は6.6千万米ドルと見積もられている。

<https://www.datacenterdynamics.com/en/news/ivory-coast-targets-launch-of-first-state-owned-data-center-in-2027/>

(6)【コートジボワール】ブラジル企業による油田沖合探査ブロック契約

ブラジル・ペトロbras社は、コートジボワール政府および国営石油会社 PETROCI ホールディングと、8つの油田沖合探査ブロックを対象とした生産分与契約を締結した。

<https://www.eurasiareview.com/21092026-petrobras-deepens-ivory-coast-commitment-with-eight-offshore-exploration-deal-oped/>

■南部アフリカ

(7)【ザンビア】イテジ・テジ地区に100MWの太陽光発電所建設へ

ザンビアのイテジ・テジ地区に100MWの太陽光発電所及び関連する送電線建設が予定されており、同プロジェクトが同国の発電容量の拡大に寄与し、家庭用および産業用双方において、安定した電力へのアクセス改善に貢献する。

<https://www.lusakatimes.com/2026/09/09/100mw-solar-photovoltaic-power-plant-coming-to-itezhi-tezhi/>

(8)【ジンバブエ】インド企業、1億米ドルを投じてジンバブエのリチウムを確保へ

インドの鉱物関連企業 Lohum は、推定3千万～4千万トンのリチウム含有鉱石が埋蔵されていると見られるジンバブエの10の鉱区の権利確保を目指し、1億米ドルを投資する計画だ。同プロジェクトは、中国企業が投資を拡大する中で、インド企業進出の足掛かりになる。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/indian-company-targets-40-million-tonnes-of-zimbabwe-lithium-in-dollar100-million/t14zkhz>

(9)【南アフリカ】インドのソーラー・インダストリーズ、南アフリカの鉱物関連企業を買収

インドのソーラー・インダストリーズは、南アフリカ鉱物関連企業のオムニア・ホールディングスを13.6億米ドルで買収する契約を締結。同社はアフリカの鉱業セクターへの本格的な進出を図っており、アフリカ大陸で急成長している鉱業および重要鉱物産業における同社のプレゼ

ンスを強化する。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/indias-solar-industries-expands-its-african-footprint-with-dollar136-billion-takeover/nk303j3>

(10)【南アフリカ】南アフリカの肥料廃棄物からのレアアース回収プロジェクト

南アフリカにおいて肥料廃棄物からレアアースを抽出するプロジェクトが、欧州磁石メーカーによって開始される。同プロジェクトは、3.5千万トンの肥料廃棄物からレアアースを回収し、磁石材料における中国への依存度を下げる狙いがある。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/south-africas-fertiliser-waste-could-supply-europes-defence-magnets-as-china/pc6svjz>

(11)【南アフリカ】中国、アフリカ最大手銀行へ150億米ドルの資本増強を計画

中国は、スタンダード・バンク・グループに対し、追加で最大150億ドルの資本注入を準備しており、これにより、中国企業とアフリカ市場の更なる連携を強化する。中国工商銀行（ICBC）は同行の筆頭株主であり、現在の保有比率は19.7%である。最近では、同行によるアフリカ19市場での人民元決済サービスを開始した。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/china-lines-up-dollar15-billion-capital-boost-for-biggest-shareholder-in-africas/sfq4ys9>

■北部アフリカ

(12)【モロッコ】モロッコ最大のカジノの運営会社、競合を買収へ

モロッコでカジノを運勢するスペインの CIRSA 社は、イタリアのロットマティカ社を吸収合併することで合意した。これにより、年間利益が約23億米ドルに達し、同業界では第二位となる世界的な賭博企業となる見通しだ。同社は、マラケシュやその他の観光地にある著名な施設の株式を保有している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/dollar33-billion-merger-pulls-moroccos-biggest-casino-operator-into-global-betting/cgl9xs8>

(13)【モロッコ】スイスの香料メーカー、ジボダンがモロッコでの事業拡大を計画

ジボダンは、モロッコ西海岸のカサブランカに、フレグランス・ビューティー部門向けの新たな開発センターを開設する。ヴェルニエに本社を置くこの香料・フレーバー大手は、アフリカ、中東、南アジアにおける需要の高まりに応えることを目指している。

<https://www.swissinfo.ch/eng/swiss-industry/givaudan-is-expanding-in-morocco/92034253>

(14)【リビア】リビア、ハンガリー企業と海水淡水化プラント建設計画について協議

リビアは、同国における近代的な海水淡水化プラント建設に関して、ハンガリー企業と協議を行った。提案されているプラントは、近代的で環境に優しい技術を用いて水供給量を増加させ、産業を支援するものである。

<https://libyaobserver.ly/inbrief/libya-hungarian-company-discuss-proposed-desalination-plant>

(15)【エジプト】世界最大の EV バッテリーメーカーが、エジプトに参入

世界で設置されている電気自動車用バッテリーの10台に4台近くを供給している中国 CATL 社が、自動車市場および再生可能エネルギープロジェクト向けの3.9千万ドル規模の工場建設を計画している。当初の年間生産能力は大型商用車向けの1GWh を予定しており、第2段階では5倍の5GWh に拡大する見込み。将来的には、乗用車用バッテリーや太陽光・風力発電プロジェクト向けの蓄電システムも生産対象としており、現地調達率は40%を目指す。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/worlds-largest-ev-battery-maker-joins-dollar39-million-egyptian-factory-targeting/bw3l5gp>

(16)【エジプト】インテル社とエジプト、AI の認知度とスキル向上に向けた覚書を締結

米インテル社は、エジプトの通信・情報技術省と、国民の AI に対する認知度とスキルの向上を支援するための覚書を締結した。これにより、このテクノロジー大手は、今後3年間で毎年1百万人を対象に、AI の基本概念、技術の安全かつ責任ある利用、デジタル信頼に関する研修を実施することを目指す。この合意は、2030年までに AI の経済的・社会的便益を高め、同国のデジタル能力構築を目指す「国家 AI 戦略」の取り組みの一環である。

<https://www.mobileeurope.co.uk/intel-egypt-mou-ai/>

■その他

(17)【アフリカ・米国】米議会、AGOA の2028年までの延長を可決

米国議会は、「アフリカ成長機会法 (AGOA)」の2028年末までの2年間延長を可決した。対象となるアフリカの輸出業者に一時的な猶予を与えた。

<https://allafrica.com/stories/202609030031.html>

(18)【アフリカ・アルゼンチン】アフリカ向けの穀物供給でアルゼンチン産が増加

モロッコ、エジプト、アルジェリアがアルゼンチン産トウモロコシの輸出を過去最高水準に押し上げている。ロシアによる攻撃や輸送問題によりウクライナ産トウモロコシの供給が途絶えたため、アルゼンチン産に切り替えた結果、モロッコのアルゼンチン産トウモロコシの輸入量は133%増加した。また、エジプトとアルジェリアはそれぞれ240万トンを購入した。2026年の最初の7か月間、北アフリカ諸国の購入量は45%増の650万トンに達した。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/morocco-egypt-and-algeria-drive-record-argentine-corn-exports-as-ukraine-loses-access/7yqyj3p>